Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

1210あかりんアワー　教員が研究の楽しさを語る
第34回（5/7）　倉阪秀史先生推薦　ブックガイド

※掲載されている本はN棟3階ブックツリーのテーマ展示コーナーに配架されます。

Book1

地域主導のエネルギー革命

著者：倉阪秀史（編著）　出版社：本の泉社
コメント：2012年2月に千葉大学とワーカーズコープの共催によって仙台で開催した「再生可能エネルギーによる仕事おこしワークショップ」の講師陣が、再生可能エネルギー種ごとの導入の手引き、先駆的自治体の取り組みなどを紹介するもの。

Book2

コミュニティ・エネルギー小水力発電、森林バイオマスを中心に

著者：室田武ほか　出版社：農文協
コメント：再生可能エネルギーに企業がこぞって参入するなか、単なる「電源」の転換ではなく、農山村のコミュニティが熱や動力を含めたエネルギーの自給力・供給力を高めながら豊かになる道はあるか。大規模集中エネルギーシステムから分散複合型エネルギーシステムに転換する方策を、小水力発電と森林バイオマスを中心に、具体例に即して提言する（編集部）。

Book3

知ろう!再生可能エネルギー

著者：馬上丈司　監修：倉阪秀史　出版社：ちしきのもり
コメント：今注目を集めている再生可能エネルギーとは何か？それによって社会がどう変化するのかを学べる児童向けのエネルギー入門書。日本と世界のエネルギー資源の特徴、なぜエネルギー資源を持続させる社会が求められるのかを理解するきっかけになります（編集部）。

Book4

人口減少・環境制約下で持続するコミュニティづくり
南房総をイメージエリアとして（千葉学ブックレット）

著者：倉阪秀史ほか　出版社：千葉日報社
コメント：今後の人口減少・環境制約下の社会において、いかにして豊かなコミュニティを持続させることができるか。千葉大学人文社会科学研究科と工学研究科の文理融合型プロジェクトによる報告を収録する(編集部)。